



七ヶ宿中学校

# 望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

## 令和5年度第2学期がスタートしました！ ～校長式辞より～

2学期制ならではの短い秋休みが終わり、2学期が始まりました。2学期にも自立に向けた力を付ける(自分を成長させる)特色ある行事として、新たな生徒会組織での生徒会活動、水泳授業、仙台研修、職場体験、地域に貢献、町音楽祭、冬季宇検村交流、などがあります。

前の集会で話したとおり、誰かの役に立つ力を付けるためには、自分を成長させる努力(頑張り)が必要です。努力は苦しいし、面倒ですが、それを行うことで力になります。しっかり取り組んでいきましょう。

さて、通知表の分析はしましたか？既に先生から話をされているかもしれませんが、次に通知表でよい結果(成長した自分)となるよう、今日は観点別評価の「主体的に学習に取り組む態度」について話したいと思います。「主体的に取り組む態度」は、知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、粘り強い取り組みを行うとする側面と、自らの学習を調整しようとする2つの側面から評価されます。

1つ目の学習に対する粘り強い取り組みですが、端的に言えば「量的に頑張る」ことです。学習に費やす時間や、取り組む課題の数などです。2つ目の自らの学習を調整するとは「質的に頑張る」と言えるかもしれません。

例えば、自分がどれだけ理解しているのか、どこが苦手なのかを把握し、自分の方法をいろいろ試し、どの方法が最も効果的なのかを発見していく。学習においては、失敗から学び、継続的に改善を図る姿勢が非常に重要なのです。つまりは「通知票の分析」は主体的な学習態度につながっているのです。

学習は学校での授業だけで行われるものではありません。家庭学習(課題の解決、問題集の取り組み、テストでの誤答の分析)などもありますが、社会に出てからも学習が続きます。もっと言えば社会に出てからこそ、自分主導で学習を進める力が求められます。これを機に、「主体的に学習に取り組む態度」を身に付ける努力をしていきましょう。



## 不審者訓練をしました！

9月29日(金)、白石警察署生活安全課様、白石警察署関駐在所所長澤田様にご来校いただき、防犯教室の一環として不審者訓練を行いました。

まず最初に生活安全課様より、①身近にどんな犯罪があるのか、②犯罪の危険予測とその回避について、③登下校時や外出時の防犯について、話をさせていただきました。何よりも強くお話があったのは、「中学生は犯罪に巻き込まれないよう逃げるの一択」とのこと。

関駐在所、澤田様には模造刀を準備していただき、刃物を持ってうろついている人の怖さを実感したり、腕などを捕まられたときの対処法などを教えていただきました。また、教職員の不審者対応訓練では、不審者役として関わっていただき、不審者への声掛けや生徒がいる教室の方に移動させないような声掛けの仕方、さす又を使用するための対応の仕方などを教えていただきました。

今回の訓練を通して、不審者が来たことを教職員及び生徒へ知らせる周知の仕方、不審者に対応する人・放送する人・生徒を安全な場所へ誘導する人などの役割分担について、課題を確認することができました。



## 新人大会 男子卓球個人大活躍！

9月30日(土)、10月1日(日)の2日間、新人大会が開催されました。この大会から、新しい地区割での新人大会となります。本校は三地区(白石・刈田、柴田郡、角田・伊具)が一緒の地区となって戦いました。

中でも、男子卓球個人戦トーナメント143名参加の中で、2年の庄子凌功さん、佐藤烈士さんの2名が第3位入賞の快挙。他の競技でも、参加選手全員が今ある力を全力で出し切りました。来年の中総体に向けて課題を解決できるよう、日々の練習を積み重ねてまいります。たくさんの応援、ありがとうございました。

### 【試合結果】

卓球男子 個人戦

庄子 凌功(2年)第3位  
(代表決定戦を勝利し)

県大会出場)

佐藤 烈士(2年)第3位

浅倉 隼斗(2年)3回戦敗退

高橋 優輔(1年)2回戦敗退

ソフトテニス男子 個人戦

佐野鈴之助(1年)1回戦敗退(オープン参加)

ソフトテニス女子 個人戦

高橋 重(2年)1回戦敗退(オープン参加)



七ヶ宿小学校  
学校だより

# 七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

## 第1学期終了！ そして第2学期 スタート！

10月6日(金)に第1学期終業式、5日間の秋季休業日をはさんで10月12日(木)に第2学期始業式を行いました。発表児童は、1学期に努力したことや反省をもとに、2学期の目標を決めていました。子供たちのさらなる活躍を期待しています。そして、2学期も、元気いっぱいの子供たちをますます元気にできるよう、教職員一丸となり努力していきます。

さて、皆様は、次の3つのうち、どれに近いお考えをお持ちでしょうか。

- ①人間は、善を行うべき道徳的本性を持って生まれてくる。だから、善い心が悪くならないように善い行いをどんどん褒めてどんどんするようにし、悪いことはしないようきちんとしつけるべきだ。(性善説:孟子)
- ②人間は利己の欲望を持って生まれてくる。だから悪い行いをやめさせるために、善い行いを示して、悪い心がだんだんと善い心になるように教えなければならない。(性悪説:荀子)
- ③人間は白い紙のように善悪の区別のない状態で生まれてくる。生活や社会体制などの後天的な理由で悪になったりする。だから善いことと悪いことの区別がつくように教え、善い事は進んでするようにし、悪いことはやらないように教え諭していかなければならない。(白紙説:ジョン・ロック)

これらに共通なことは、「善いこと悪いことをきちんと教えること、善いことをしたら褒め、悪いことをしたらそれは悪いことと教え、しないようにする」ことです。そのためには、大人が、事実をしっかりと見つけ、判断し、自信を持って毅然と、「自分のすべきことを怠けること」「友達の邪魔をすること」「嫌なことや迷惑になること」などは「やめる」ことをきちんと教え込む必要があります。その子の将来にとって、また子供の集団や社会にとって好ましくないことは、学校でも繰り返し指導していきたいと思ひます。御家庭においてもお子さんの生活に即して話し合い、しつけていただくよう、御協力をよろしくお願ひいたします。



終業式でたくさんの表彰がありました

終業式で発表した5名の皆さん

始業式で発表した5名の皆さん

## 実りの秋を実感！

9月29日に源流米ネットワークの皆様のご協力をいただき、4～6年生の稲刈り体験を実施しました。5月に田植え体験をしたときの稲の収穫です。前日までの雨の影響で、足場が悪い状態でしたが、腰を落としてたくさんの稲を刈り取りました。また、刈った稲を束ねて干す作業も行いました。子供たちはこつをつかみ始めるとどんどんと作業を進めることができました。子供たちのために貴重な機会を提供いただきありがとうございました。



## 宇宙を学んだ校外学習

9月25日(月)、3・4年生が仙台市天文台に行ってきました。宇宙に関する展示や資料がたくさんあり、子供たちの興味は高まる一方でした。望遠鏡を覗き込むと、三日月の形が見え、子供たちは「月だ」と反応していましたが、実は「金星」でした。金星も太陽の光の当たり方によって、遠く離れたところで三日月の形に見えることを体験から学びました。お昼は、菅生SAでの食事でした。事前に計画を立て、何を食べるか考えました。「おいしい」と話しながら、外での食事にみんな満足気でした。

